(別紙積式21)											
				ハビリテーシ							
	氏名 病名			性別 (男 ・ 女) 年齢 (治療内容		歳)	計画評価実施日 発症日·手術日	(<u>年</u> 年	<u>月</u> 月	<u>日)</u> 日)
异化	7月10		7D15(1)	日台			リハ開始日		年	月	日)
				里学療法 口 作	乍業療法 □	言語療法		_			
併	字疾患・合	併症	安	浄度・リスク		_	禁忌·特記事項				
心身機能・構造 ※関連する項目のみ記載											
□ 意識障害(JCS・GCS) □ 関節可動域制限 ()											
□ 呼吸機能障害 □ 拘縮・変形											
│ 一 □ 酸素療法()L/min □ 気切 □ 人工呼吸器 │□ 筋力低下 () □ 循環障害 │□ 運動機能障害											
	□ EF()% □	不整脈(有・無)			動 🗆 運動失調	□ n°-‡	シソニス	ث ل)	,
│□ 危険因子)
	肥満	□ 高尿酸血症 □	慢性腎臓病 🗆 🤋		□ 音声·発記	5障害			N H P J	L)	
	狭心症 {食嚥下障	□ 陳旧性心筋梗塞 実 ′		その他			吃音 □ その他(記憶 □ 注意 □ £))	□ '*	:=\
	を できる できまり できない できない できない できない できない できない できない できない	吉(()	□ 同次脳(版		口息 口 注息 口;	X 1J L	大祕	□ 12≥1)
口排	泄機能障	害()	□ 見当識障	害()
□ 複		()	□ 記憶障害 □ 発達障害	()
	·佣 ·の他	()		<u>へ。かうム症</u> [□ 学習障害 □ 注	意欠陥	多動性	障害)	
基本動作											
	返り	(口自立 口一部介		実施)	□ 座位保持		□一部介助□				
		(口 自立 口 一部介. (口 自立 口 一部介.			□ 立位保持 □ その他	(口 自立 (□ 一部介助 □	介助 [」非実	(施) \	
		活動(動作)(実行状	況) ※BIまたはF	Mのいずれかを	必ず記載	`		目及が			
		項目	得点	開始時→現る	Έ		使用用! 介助内				
		食事	FIM →	10·5·0 —			7,-231				
		<u>良尹</u> 整容	\rightarrow	5.0 -							
	セルフ	清拭•入浴	\rightarrow	5.0 –	→ 5 · 0]					
運動	ケア	更衣(上半身)	\rightarrow	10.5.0 -	· 10·5·0						
		更衣(下半身) トイレ	→ →	10.5.0 -	· 10·5·0						
	排泄	排尿コントロール	\rightarrow	10.5.0 -							
		排便コントロール	→	10.5.0 -	→ 10·5·0						
	移乗	ベッド、椅子、車椅子	\rightarrow \rightarrow	15•10 _	15•10						
	197	浴槽・シャワー	→	•5•0	·5·0						
	移動	歩行		15•10	15•10	1					
		(杖·装具:) 車椅子	\rightarrow	•5•0	•5•0						
		階段	→	10.5.0 -	· 10·5·0						
認知		FIM 13-91, BI 0-100)	\rightarrow	_	→						
	コミュニケーション		→								
	ケーフョン	社会的交流	\rightarrow \rightarrow	\							
	社会認識	問題解決	\rightarrow] \							
	J. =1 /=	<u>記憶</u>	→								
		FIM 5-35) (FIM 18-126)	→ →								
栄養(※回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定する場合は必ず記入)											
基礎	情報		<u>袞(※回復期リハt</u>)cm □ 体重:					長測定が困	難な場合	は省略で	ij
栄養	補給方法(複数選択可) 🛘 経口	(□食事 □補助]食品), 🗆 経管							
		必要性: (□ 無 □: 西: ① GLIM基準によ			養非該当 □ ←	低栄養(口 🗗	□等度低学表 □ □	重度低学	養)		
-1-16	* **** * > B `	該当項目 表現	型(口体重減少、口	低BMI、口 筋肉量	減少) 病因([減少/消化吸収能低			5/炎症)
r ⊢=	ⅎℸℯΩℾⅈ℄∺	② GLIM基準以外 発養非該当しかつ②「関)				
	ぱでいばる 栄養量	ド養非該当」かつ②「問	題なし」以外に該意 熱量: (自した場合に記載)kcal	い たんぱく質	量() g				
		経口・経腸・経静脈栄養の合計)kcal	たんぱく質)g *2:入院直後等	で不明な場合	は総提供	栄養量でも	<u>,可</u>
			聖(※回復期リハビ			算定する場合	(は必ず記入)				
		□あり □なし り、□なし)		は血: 口あり 口	-	たい ロズキフ	2 7 4 (``
述の	/J16(LB	7、口はし/) その他()
口要	介護状態区			<u>[サービスの申請</u> ₿体障害者手帳	状况 ※該当		□ 療育手帳・愛護	手帳	□ その	他(難症	5等)
	申請中	□ 要支援状態区分(□	1 🗆 2)		保	健福祉手帳			(0)	\xx	/
□ 要介護状態区分(□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5) 種 級 障害程度 目標(1ヶ月) □ 予定入院期間()											١
	<u> まく12 月)</u>	_			口1示()於」店	1/	-	たへに ^れ 院先(/(I)
1							口長	期的·継	続的に	ケアか	必要
治療方針(リハビリテーション実施方針) 治療内容(リハビリテーション実施内容)											
/01	<u> ホノ」 半 \ ブ / </u>	・こ / / フョン大心刀	22 1/		7 12 72K F 3 12T ()	,,, <u>_</u> ,,	- コンズル(11年/				
IJ	ハ担当医		主治医		説明を受けた	-人:本人 家	?族() 説明E	3: 4	ŧ	月	В
理	学療法士		作業療法士			\. /T·/\\ 2	· / D/0-97] F				-
	語聴覚士		看護師		署名						
管理栄養士 社会福祉士											
説	明者署名										